

# CASBEE® 京都-新築

# 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2011年版） | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都府南警察署	階数	地上5階
建設地	京都府京都市	構造	SRC造
用途地域	0	平均居住人員	884 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月	評価の実施日	2013年3月28日
敷地面積	3,585 m <sup>2</sup>	作成者	日本設計 関西支社
建築面積	1,817 m <sup>2</sup>	確認日	2013年3月28日
延床面積	5,848 m <sup>2</sup>	確認者	日本設計 山藤



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.9** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.8

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 3.6

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.7

**Q3 室外環境 (敷地内)** Q3のスコア = 4.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.7

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.5

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
地域の安心・安全を担う施設として堅牢さを持ちながらも、開かれた警察署として、開放的な計画とした。外部環境負荷を低減するために縦ルーバーを外壁前面に設け環境配慮を視覚的に表した。京都市内であるが、地域的に景観形成を主導するように十条通りに面して飾り庇を設け京都的なポイントを設けた。	既存まちなみに対し、景観形成の指針となる外観計画	
<b>Q1 室内環境</b> ルーバー採用により外部よりの視線の処理	<b>Q2 サービス性能</b> 執務空間の天井高さ2.7m確保によるゆとりの実現	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 景観形成のために飾り庇の設置
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光パネルによる発電、太陽熱パネルによる集熱給湯の採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 府内産木材の内装材としての採用、雨水、井水の利用	<b>LR3 敷地外環境</b> 雨水貯留によるピークカット

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される